

## 練馬区小中一貫教育資料作成委員会（第15回）「心の教育の推進」部会 要点録

開催日時	平成22年9月21日(火) 午後4時13分～午後6時41分	
会場	練馬区役所東庁舎5階 501会議室	
出席者	委員	福田純子、久能正吾、濱元雅俊、鈴木芽吹、佐野純夫、相田真人、小林昭文（敬称略）
	その他	教育出版
	事務局	小坂橋悦子 指導主事

### 1 はじめに

#### 委員

そろそろ具体的なかたちも見えてくる段階なので、全体像を見ながら整合性とか系列、一貫といった視点で見たい。

#### 事務局

事務局より資料について。いつもの要点録を確認いただいて、修正があれば来週月曜日までにご連絡いただきたい。今日までに原稿を送ってくれた方については印刷してお配りした。ご確認いただきたい。

前回のいくつかの確認事項。形式は40字×45行、これは全体の統一としてお願いした。指導案、ワークシートの資料は、基本は4ページ。それ以上の、本時で使用する以外のワークシートや、資料があったほうが、より学習指導案が使いやすいということであれば、CD-ROMに掲載することができる。画像については、検討中。載せるとしても写真。枚数や容量については、まだほかの部会がどれだけ画像資料が必要なのか出そろってないので、それからになる。まったく載せられないことはないので、必要であれば検討しておいてほしいということ。

学習指導案については1時間ないし2時間の展開例を入れる。前回の話では、指導計画をしっかりと入れて、展開例を載せなくてもという話もあったが、ほかの部会では必ず展開例を入れるというところもある。展開例を入れてどうしても収まりきらない場合についてはCD-ROMの資料で入れるか、どうするかたちで載せていくか、話を進めていければ。

### 2 協議

#### 事務局

「心の教育の推進部会の作成ページについて」として、全体がこんな感じと示したものを配りした。まず扉のページが2ページ、どこの部会も共通で必ずこの事項について入れていく。そのあとに指導プラン例で、五つの重点項目について以前お作りいただいたものを載せたい。大きなA3判で作ってA4二つになるようなかたちで載せる。今考えているのは、開いたときに左右にあって、それが展開例になると考えており、これで2ページずつ取る。このページが全部で5項目で10ページ。

そして13ページ以降、ここが学習指導案、ワークシート例。基本4ページずつで組んでいきたい。そうすると実は、本部会だけで今82枚のページを必要である。前回も話したとおり、

2ページでもよいことになっている。少しページ数を減らしたい。ほかの三つの部会でページ数が少ないところもあると聞いているので、全体の調整によっては少し増やせる可能性がある。並び順は、指導項目5項目の順番どおりに指導案も学年順に入れていくということでまとめた。

そして今回の指導案の検討だが、お持ちいただいた指導案を拝見して、最終の修正と、CD-ROMに入れ込む資料を、どういうものが必要か確認させていただきたい。例えば、ワークシートで本時は1時間分だが、4時間扱いをしているので、あと3時間分のワークシートがA4で3枚分必要だということをしていただければ、その容量分を本部会として確保したい。

では最初に、相田先生の自尊心のところ、「未来に向かって堂々と進もう」。前回からの辺りを改訂し、4ページに入れたか。そして必要な資料があればお話しさせていただきたい。

#### 委員

活動のねらいの(1)のほかに、資料のねらいを前回は(2)でつくっていたが、それをなくした。それから、指導案の部分があるところは指導計画を簡素化し、4ページにまとめた。あと資料としてワークシートを2枚。「今から、ここから」というものを載せていただきたい。

#### 事務局

CD-ROMに入れるとしたら、ワークシートがあと2時間分として、A4が2枚と資料。

#### 委員

子どもの反応のところを大幅にカットしている。削った都合、指導案のところ、例えば質問2に「ア.自分で決めた イ.自分と家族の話し合いで決めた」というのを少し補充した。

#### 事務局

使っていただく先生がこう聞いたらいいのではないかということ。2ページの展開のところ上で活動内容と指導上の留意点と評価ということで、ダイヤ柄が評価になるということだが、このダイヤ柄はどれに当たるのか。

#### 委員

それはない。

#### 委員

同じ3の展開のところ、二つ表になっていて、下のほうが本時の指導案にあたるものだと思う。上の部分は、活動内容に関しては下の指導案と一致しているわけでこれを見れば分かる。だから、指導上の留意点で展開の中のコーナーに入れ切れない部分、全体を通じての留意点があるところにあるという受け止めがいいのか。

#### 委員

2ページの上の「3 展開」、活動内容とあって右側に指導上の留意点、評価とあるが、これは1ページに続くもの。だから「2 指導計画」。

**委員**

「3 展開」で本時。この「指導上の留意点」の欄に書いてあることが、この下の本時案に盛り込まれていない部分のことがあるのか。

**委員**

2ページの上の部分は、1ページの指導計画と同じように全体を書いた。細かいものを本時ということで、「3 展開」が上にいったが、真ん中から本時の展開としての指導案だ。

**事務局**

「3 展開」が表と表の間に来ればいいということ。つまり、2ページの上の表は1ページの指導計画の続き。

**委員**

指導計画のところに「(3) 本時」とだけ入れて、この本時案が始まってしまうのではまずいか。全体をカバーする指導上の留意点であれば、この本時案が終わったあとに全体を通じての留意点などとする。左側がすごくだぶっている。

**事務局**

あまり細かいと時間がなくなってしまう。何か工夫ができないか。せつかく3分の3時間目の本時の展開を詳しく載せているので、今の2ページの上にある「活動内容」と「指導上の留意点」を、簡素化すれば、おそらく全体の留意点を載せるのに余裕が出るのではないか。

**委員**

1ページ目から活動のねらいがあって、部会としてのねらいを書き込んでほしいと生越先生の話もあったので、ここは大切にしたいと思って書いた。2の指導計画については、この3時間扱いがどう展開していくのかがほしい。ある程度骨子は2ページの頭にあって、この指導計画の続きのような形で読めると全体が分かりやすい。重複部分を抜くだけで、まったくなくさないほうがいいのか。

**事務局**

簡単にでも載せていただいたほうがいいかもしれない。  
次が4年生の道徳、資料名「やさしいなみだ」。

**委員**

書式を直した。「1 活動のねらい」の言葉、「2 指導計画」、特に「本時の活動と学習」として、道徳にしぼったので、道徳に関する本時の展開、1ページ目から2ページ目、「3 実施する各教科・領域との関連」は、この道徳の学習に関して心のノートの活用とか、総合的な学習との関連でねらいをさらに達成していきたいということ。

#### 事務局

道徳なので1時間完結で、展開が載せられているという理解でいいか。「本時の活動と学習」で載せられている。ワークシートや資料は特に考えていない。2ページで。資料は東京書籍のものと書いているが、すべての学校が東書を使っているとは限らない。ただこの資料を使った場合に著作権の問題は難しいかもしれない。載せられたらCDのほうになると思う。

#### 委員

ワークシートなどを考えていたが、どうしても著作権に触れないのかとの疑問がわいてしまい、今回はあまり手を出さなかった。

#### 委員

リクエストをしていいか。( )で1時間扱いと書いたほうが、ほかのものが何時間扱いと出ていると思うので、読む方には親切かと思った。初めに書式を決めるプロトタイプのものにも何時間扱いということが書いてあった気がする。

#### 事務局

道徳で1時間扱いなので、指導計画ではなく本時の活動として示していただけるか。

#### 委員

はい。もう1枚、「ふるさといいとこさがし」という同じ書式のものがある。指摘のあった1時間扱いと、「指導計画」を削除して「本時の活動」に直す。

先ほどの相田先生の話聞いて、実は小学校でも他教科との関連はあって、「やさしいなみだ」も「いいとこさがし」にしても、総合的な学習と関連した進め方はあるのだが、かなり長い指導計画になってしまうので、省いてアバウトに載せてしまった。その辺がどうしたらいいのか。

#### 事務局

「社会連帯の自覚」の項目の中の「ふるさといいとこさがし」、3年生で取り扱うところで、形式を同じようにそろえていただくことで久能先生からも話があった。あと、「各教科・領域との関連」の書き方なのだが、この教科のこの領域といった挙げ方をしたり、少し詳しく記述をしたり、またはこの教科領域に関連してこんな指導計画や指導案であれば学級活動等で取り上げられると、CDの中に入れるやり方もある。ここについては、こうでなくてはいけないといったことはない。ある程度、それぞれの先生方がこれを元に工夫をしていただくといった考え方でもよいと思う。

#### 委員

教育課程の届出に際して、年間の計画、総合的な学習にしても生活科にしても、ある程度、学校のマニュアル化したものがある。それをここに取ってきて、補助資料としてCDに載せることも問題がなければ用意できる。

**委員**

指導案の最後が、終末なのかまとめなのか。

**委員**

基本的には終末だと思う。

**委員**

同じような質問だが、質問と発問。どうなのか。

**事務局**

発問のほうがいい。ほかの教科の指導案でも発問で入れると思う。

それでは、「思いやりの心」の8年生、相田先生、職場体験のところについて。

**委員**

学校によっては総合的な学習の時間で全部扱う場合も、学級活動でやる場合もある。5、6時間でできると思う。前と同じように、この授業のねらいを核としてみた。「指導計画」のところの(2)に太い線で示したところが「展開」として出ている。

気になっているのは「3 展開」のすぐ上、(5)インターネットで三井、三菱、住友、安田等の旧財閥系企業、SONY、東芝、NECと具体的な企業名を書いている。この調べ活動が1、2時間ぐらいかかるかと波線になっているが、そういう時間があるということ。

展開は(2)のところをやっていく。この時間のワークシートが4ページに出ているが、ほかに5、6時間だから4時間か5時間分のワークシートがあり、4枚分のワークシートがこのほかにつく。

この職場体験はキャリア教育と重なる部分があり、心の教育の推進でも扱うことを、1ページの「部会としてのねらい」のところに書いた。(1)の上から7行目のところ「道德教育を進めるにあたっては、……」。

**事務局**

キャリア教育とはまた違った視点を当てながら職場体験を進めていくには、このような計画ではどうかということ。キャリア教育の部会でも職場体験を出してくるのではないか。もし心の部会でやるとしたらこの形となる。先ほどの心配されていた企業名のところ、企業名は載せられないと思う。どのようなまとめ方をしたらよいか。旧財閥系企業として大丈夫か。

**委員**

それは大丈夫だ。あと、電気通信会社。

**事務局**

製鉄会社、鉄道会社。

**委員**

時間だが、導入5分、展開で15分、展開2で10分。合計すると60分になってしまう。

**委員**

計算が間違っている。時間を確認する。

**委員**

まず「2 指導計画」、先ほどと同じ趣旨だが、第2校時に当たるものが「本時の展開」に細かくあるので、重複しているところを整理できる。そうすると全体計画がすっきり見える。先ほどの指導案と同じだが、「1 活動のねらい」で「(1) 部会としてのねらい」で次に(2)がない。これは「活動のねらい」だけでもいい。

「(1) 部会としてのねらい」がなくても、当然この部会としてのねらいが書き込まれているので、ここは言葉はいらないのではないか。

キャリア教育では職場体験は当然扱うはず。ただ、同じ職場体験を通じていろいろな面から子どもを育てていくという焦点が当てられることが、この活動のねらいに入り込んできたので、より分かるようになった。

**委員**

5から6という時間数に関しては、どちらかに絞らなくてよいのか。

**事務局**

もうここに載っている指導計画であれば、学級活動が2時間で総合が5時間と、切ってしまうといいと思う。

**委員**

(5) のインターネットで調べるのが2時間ぐらいになる気がしたので、「から(〜)」とした。全体で6時間でもいいが、学級活動と総合的な時間をどうやるか。

**事務局**

最初の(1)は総合的な学習の時間の合計1時間とあり、これは1時間。次とその次が学級活動で、「仕事の楽しさ喜びとは？」という話し合いをし、「はたらくことで大切なことは何かを発表する」。その次からは総合になり、体験前のところで1時間と、調べるところで2時間とすると、総合が4時間の学級活動が2時間でよいか。

**委員**

全部総合でもいい気もする。この(1)の「合計1時間」は、職場体験に行ったときの毎日の反省。

**委員**

そのようにして1時間と位置づけてよいのか。

**事務局**

それは難しい。ここでは「1時間合計」という言い方をしないで、「1時間」と載せて、毎日反省を行ったことを書きながら体験をまとめたものを、1時間のなかで全体でシェアする、皆で話をする時間になっているといい。10分ずつ5回取りというのは難しい。旧課程の届出のときにもそれはご遠慮いただいているやり方なので。

**委員**

「2 指導計画」の(1)のところ、「毎日の反省で日記を書きながら体験したことをまとめる」ではなくて、それを総合的に1時間取るといった文言に変えたほうがよいのか。

**事務局**

「合計」を取ってその中でやるとしていただければ。

**委員**

指導計画の(1)、(2)という振りがよく分からないので、第1時、第2時にしたほうがいいと思うが、どうか。

**委員**

小学校などは、15時間扱いの何時間目という分数で表したりする。

**委員**

中学校の社会科だと第1時、第2時と言う。

**事務局**

中学校方式で第1時、第2時でいこうか。

それでは続いて生命尊重。鈴木先生から「あしたへ ジャンプ」。

**委員**

流れとして大きくは変わっていない。今の話で「指導計画」でこの1番、2番が第1時、第2時になる。太字で囲ったところが本時になる。活動内容しか囲まなかったのは、指導上の留意点や評価は、その下の「自分ができるようになったこと、成長の様子などを工夫して作品をつくる」のところからんでくるため。

次のページに「本時の目標」と「本時の展開」を載せた。ここがどうなのか。一応「本時の展開」までで「3 実施する各教科・領域との関連」は、ここまで載せないのであれば2ページで納めて、そのあとのワークシートなどはROMに入れてもいいのか。「3」を載せてよければ、ワークシートを載せて4枚と考えている。

「生命尊重」なので、私の個人的な強い気持ちで道徳も載せたいという思いがあり、最後につけた「主題名 命のありがたさ、資料名 たんじょう日」の略案があるので、ROMに入れていただけたらと思う。

**事務局**

第1時、第2時という書き方だが、この場合には「単元の指導計画」で「クラスの思い出年表をつくろう」の②は2時間使うということ。そうすると「時」ではなくて、「次」になる。2時間扱いといった書き方のほうが分かりやすい。ほかのところも同じようにしていただきたい。これは行を45にしてあるのか。

**委員**

はい。でも、別のフォントなので大きくなってしまっているのかもしれない。

**事務局**

詰めて入れられるようであれば、入れてしまってもいいと思った。そうすると2ページにして、資料とワークシート、道徳に関連する略案についてはCD-ROMの資料参照とすると、こういう授業を道徳でやることができるという参考になると思う。そのようなかたちでいいか。

**委員**

これはすっきりしていて全体がよく分かっていいと思った。本時のところ、もし囲むのであればやっぱりこういう囲みで囲んだほうがいい。この表自体、縦横が私は分からなかったので、これで一くくりのほうが分かりやすいという印象を持った。

**委員・委員**

フォントが小さい。

**委員**

この中、10にして詰めてしまった。

**事務局**

今の小林先生の話、できるか。横に全部囲むということ。もし両方でくくれるような工夫ができればそうしていただいて、もし難しいようであれば、こちらの今のくくり方で。

**委員**

これは10.5で伸ばしてしまったら、入り切らない。「実施する各教科・領域との関連」をまた本時の展開のページに下に入れるとなると、「本時の展開」の表の中も詰める感じになると思う。そうすると行数は45ではなくなってしまう。

**事務局**

10.5を10にするか、少し文言を整理するか。行数は45。それは守っていただく。文言を整理したり、枠の切り方を変えると入るかもしれない。それで工夫していただいていいか。



#### 委員

2枚でまとめる方向で話が進んでいるが、これは12時間扱い。例えば第2次の「大きくなった自分を確かめよう」が5時間扱いで、初めて見た方が、どう切っていくのかとか、よく分からない部分もある。この「指導計画」を、きちんと枠を結んでいくと量は増える。3枚目の「実施する各教科・領域との関連」のところも入れたいという願いもある。4ページ分割してもいいのならゆったりつくると、この表がすっきりして全体計画の流れが分かるのではないか。

生越先生に怒られてしまうかもしれないが、私達がこういうものを見て、やってみようかどうかと、全体の流れがつかめないと。12時間だったら、どこをこだわってやっているのだということが伝わるほうがいいし、全体的に余裕がある。4ページ分あれば、このワークシートをスキャナで取り込んで、貼り付けてしまう。大きいものについてはCD-ROMにすぐ使えるようなかたちで入れておく。そうすると先生の気持ちがもっと伝わるものになる。

#### 委員

「指導計画」はまとめてやってしまって、5時間扱いとかも詰めているので、ちょっと広めに取って、この時間でこれというのをもう少し分かりやすくやったら、たぶん「指導計画」がこっちまでくる。そうすると4ページ使う。それで考えてくる。

#### 事務局

続けて「ぼく」をお願いしたい。

#### 委員

これは道徳で「1時間扱い」を付け加えたい。「活動のねらい」の次の「本時の学習」は「本時の活動」になる。道徳は1時間扱いなので、1枚目、2枚目ですべて埋まっている。あとはワークシートを付け加えたところと、「各教科・領域との関連」の二つ目でエンカウンターを取り入れたらどうかを入れたので、その流れをCD-ROM資料としてもう一つ入れた。これも4ページ入れなくても、ワークシートはROMでもいい。

#### 事務局

そうすると、この裏表で2ページ分だけにして、あとのところはCDに入れる。資料もこのワークシートについても入れてという感じ。

#### 委員

たぶん学校に分かる方がいるので、スキャナで取り込んで一太郎でもWordでも図形貼り付けをする。

#### 委員

さっきと同じで、黒ポチのところが皆字が小さい。

#### 委員

ここは児童の反応。

**委員**

発問と出てくるであろう予想とでメリハリがつくから、分かりやすい気がした。この辺は分かりやすければいい。

**事務局**

資料名「ぼく」について、いかがか。

**委員**

こういう賞状があったら使ってみたい。やはりこういうものが持っている力はあると思う。うれしいでしょうね、子どもは。

**事務局**

それでは小林先生の、道徳の「いじめ防止キャンペーン」について。

**委員**

最初のカリキュラムの割り振りを見ても、この「いじめ防止キャンペーン」に期待されているものがあまりに重くて、自尊感情でもあるが、生命尊重も思いやりの心もここでやってほしい、いわゆる中1ギャップをカバーするようなものという大企画なので、非常に苦慮した。

骨組みとしては相田先生が実践されているものをコアにしながら考えた。なぜこれが自尊感情なのか、はっきり書かないとただの思いやりの心とかになりかねないので、1に「活動のねらい」を立て、2に「指導計画」の「(1) 活動の進め方」で全体計画の理屈っぽいことを書きこんだ。そうしないと、いろいろな活動を8時間扱いで道徳で、しかも学級活動、場合によっては放課後の活動も含めた生徒の自主性を伸ばす取り組みにはならないので、やはりこの文章はこだわって、この教材に期待されていることを入れたいと思って書いた。

前回は、「本時の展開」を入れるといろいろな資料が落ちるから入れなかった。削ったのはワークシート。あと、どうしても入れたかったのは4ページ目の「いじめ防止キャンペーン 発表会」の進行表。何のために活動に取り組み、発表会のかたちをとって、それが自尊感情に結びつくのかという、部会で話してきたことのイメージが像を結ぶのではないかという期待をこめて、この進行表をつくった。この4ページ分で決定稿のつもりでつくった。これは入れだすといろいろなものを全部入れなければいけないので、これだけでいきたい。

あと、赤字で書いてあるところは、著作権の関係で教材名を明示できるか確認が取れなかったもので、まだ確定していない。「本時の展開」は第8時で組んだので、2ページ目の指導計画の第8時を太い線で囲む。

**事務局**

教育活動全体を通じての、いろいろなものを巻き込んだ授業になると私も思う。特活になったりとか、道徳でいろいろ心情的なものを掘り起こしたりとかも必要なので、それはすごく重要なことだ。ただ、「道徳、その他」という書き方だと、何でやるのか明示できないので、道徳何時間、学級活動何時間、総合的な学習で何時間といった割り振りをしていただきたい。

これを見ると、最初の時間にまずいじめのことについて考える。これは、明らかにまず道徳として考える。第2時のところに、「道徳の時間にアンケート調査を実施」して、「いじめ防止キャンペーンを提案する」となると、私は学級活動の扱いのほうが良いと思う。「アンケート調査を実施して」となると、道徳の価値項目に関する指導とか学習ではないので、学級活動としたほうが調査も話し合いも、それからどうするかもできやすいと思った。

その次の3時間目から6時間目の扱いのところ、ここも総合的な学習や特活の時間を活用してとなるが、ここをどうしたらいいか悩んだ。学校によっては、総合的な学習の大きな題目で思いやりの心みたいなものを組んで、その中の3時間分をやるかもしれないし、子供達に活動をつくらせていくのであれば、学級活動の扱いにして進めたほうが、よりはっきりと鮮明に打ち出せる。

第7時の「いじめ防止キャンペーンを発表しよう」は学級活動でいける。第8時の「振り返りの時間」で使えるところも悩んでいるところで、ご意見いただきたい。これも道徳より学級活動のほうが、そのあとの話し合い活動に持っていきやすいのではないかと。その辺りをはっきりさせると、この心の教育の推進の部会としての打ち出し方がうまくできると思った。

#### 委員

前回いちばん初めのタイトルはそう書いたのだが、意見が出て、今小坂橋先生が指摘したことに重なるが、タイトルについては「道徳、その他」が良いのではないかとということで、こうした経緯がある。

あと、第2時を道徳にするか学級活動にするかで、例えば価値行動ではないと私も思うが、アンケートはあくまで材料で、ここは道徳的判断力を評価基準にしようと考えたが、それはこだわらない。いちばん初め、これは道徳の授業で扱うという縛りがあった。つじつま合わせで道徳としたわけではない。それは第8時も同じ、道徳的判断力という評価基準を考えた場合に、材料としては学級活動に近い。ただ、道徳の授業の展開でもワークシートにさまざまな意見を書かせて、それを教員のほうで紹介したり、発表させる活動を通じて皆がいろいろなことを考えていくという授業はたくさんやっているのだから、その辺は微妙かと思った。

#### 委員

2講時のメインの活動は何になるのか。

#### 委員

あくまで8時間扱いでキャンペーンに結びつけていくためのつながりで、第1時で副読本を使い、いじめについて考える。それを自分達の問題としてひきつけるのが第2時の最大の目的だ。タイトルを「身近ないじめを見つけよう」というのもっとはっきりすると思い、そうしたが、やはり意見もあり、「関係を見つめよう」とトーンダウンしたのではっきりしない部分が出た。趣旨は身近なところへ引きつけて考えること。

#### 委員

アンケートを実施して、それを見て、問題がある、いじめの芽がこちら辺にあるということが気づかせることが目的だったら、道徳の時間になると感じる。アンケートをただ実施するだ

けだと道徳ではない。

#### 委員

ねらいで書いてあるのは、活動内容の二つ目で、「いじめや、いじめの芽は身近にも起こっていることに気づかせる」が第1の目的だ。このあとに自分達の身近に起きていることを何かチャレンジすることで打開していこうとする力をつなげたい、だから身近なことをやりたい。これが第1の主旨。第3時から6時の「指導上の留意点」は、前回この教材を出したときに、8時間つなげられるのかという意見が出た。いじめの問題は練馬区にとっても非常に大きい。その中で「道徳、その他」という半端な書き方で申し訳ないが、これを通してさまざまな取り組みを実際にいろいろな学校でやっていて、やはり1本の柱でやりたい。筋が通った続き物としてやりたい。そこに今回は、第7学年としてのアイデンティティ、自尊感情を育てる活動、要は小学校の卒業式が小中一貫校ではあいまいになるから、その辺を発表会のかたちではかの学年にも提案するような、そういう取り組みとしたい。道徳の授業だけでは収まらないし、総合だけでも収まらないし、うまくプロデュースできる先生がいる学校では、生徒会にもやらせてみようというようになってほしいという願いがあり、3時から6時の「指導上の留意点」については、さまざまなかたちが考えられる書き方をしたつもりだ。

#### 事務局

うろ覚えで申しわけないが、道徳の授業として取り扱うときは学習指導要領に示されている内容、価値項目のどこに焦点を当ててやるかを示したものの、それが道徳教育の要としての道徳の授業だと私は理解している。福田先生、いかがか。

#### 委員

この2が道徳だとしたら、「2－(3) 友情・信頼」かと今考えている。そのときにねらいが何かと言うと、これが大単元みたいな感覚でいると、道徳とはある意味独立分野というか、ほかの補充・深化・統合であって、その流れの中に位置づくとなると、どうなのか。小学校などは基本的に学活と違うので、自分達の生活とかいったもの、それは振り返りの段階ではあるが、価値としての学びがないと道徳としてどうなのか。個々の道徳的判断力を評価する時間ではない。だからその時間のねらいに沿った授業を展開して、そこでの判断力みたいな気がする。私だったら第1は道徳でいって、2と8が学活、3、4、5、6、7で総合の単元みたいな感覚で受け止める。

#### 事務局

そうすると、道徳が取り掛かりになり、道徳でいじめのことを考えるきっかけをつくり、学級活動で話し合いをして、「いじめ防止キャンペーン」をやってみようかと、取り組みとか準備とかを含めた活動を自主的にやっていくという考えで総合の時間を使い、最後に学級活動でその活動の振り返りなどを行っていくといった流れか。

#### 委員

私の感覚ではそれに近い。3、4、5、6、7の総合としての単元だけでなく、教科を横断

して一つの大きなものを組んでいるという感覚。道徳は使われてしまいがちなのだが、中学校になるとまた違うのかと今悩んでいた。

#### 委員

アドバイスをいただいて、1時間目は道徳の時間でスタートし、2時間目、8時間目は学級活動、3時間目から7時間目は総合的な学習の位置づけで扱ってよいか。

#### 事務局

前に生越先生から、教育課程上の扱いでその辺りをはっきりしたほうが良いといった指導をいただいていた。では、引き続き社会科のほうもお願いしたい。

#### 委員

社会科のほうは「規範意識」だ。これは、去年練り込んできて、規範意識の最後に何を持ってくるのかと言ったら、地域社会をつくる構成者として云々といったものがあった。

新指導要領の先取りになるが、公民的分野で「現代社会をとらえる見方や考え方」という単元ができるので、そこでまちづくりを子ども達に考えさせてやっていく、そういう教材をつくった。

特に公民的分野は、先生方がさまざまなできごとを新聞記事を使ったりとか教材開発している。一見これは公民なのかな、という切り口から入ってくるような優れた実践もたくさんある。なぜ「より良い街を作りたい」という教材が、現代社会をとらえる見方や考え方につながるのかという指導計画はしっかり示したい、そこに分量を割きたいと思った。

規範意識は、ページの割り振りで言うと1、2ページに入ってくる内容だが、規範意識の最後にこれを目的とした授業がなぜ必要なのかというところは書き込まないと、ただの教材になりかねないので、しっかり書いた。こだわったのは裏面で、これは初めにどういうすべり出しをするのかが分からないと手がかからない。実際にこういうワークシートや資料を提示することで、区中研のグループ研で実証授業もやったので、スタートの教材を載せるのを優先させていただきたい。ただしこれだけでは絶対できないので、補助資料と、前回全部刷った8ページ分のものをお配りしたが、最終的に決定稿として4ページ分はこれで使い、あとはCD-ROMに入れるというかたち。何らかの資料的なものが入らないと先に進まないの、ぜひ資料は載せたい。

一つ難点は、4ページ、「5 参考資料」のところで上空からの航空写真があるが、Googleから取っているの、著作権法は絶対クリアしないと思う。もしOKを出していただければ大きくいけると思うが、この程度のものにしておいたほうが無難かと思い、小さくなっている。

#### 事務局

著作権については小さくても許可が必要かもしれないので、それは確認する。右側の地図になっているほうもGoogleから取ってきたものか。

#### 委員

これは中学校の社会科の教員が白地図を元に自分で書いたもの。元々の白地図がどこのもの

か確認していない。CD-ROM に入りたいのはほかに4枚。ワークシートと補助資料。

**事務局**

この二つの資料を半分ずつにして、1時間分の授業案を立てていただくのは難しいか。そうするとすごくいい。どちらかを削るのは難しい。第1時に使用するワークシートと参考資料を4ページに載せるようなかたちにして、3ページでぜひ1時間目から3時間目のどこかを授業案として載せていただけるといいと思うが、どうか。

**委員**

もし縮小していいのであれば、私は補助資料を載せたいが、だめか。

**事務局**

ぜひ指導案を、展開のほうを載せていただきたい。資料は先ほどのCD-ROMに必ず入れる。指導計画の中に、この資料はCDに入っていますという文言を入れていただいても構わない。そうしていただくとよりいい。「活動のねらい」で、どうしてこれが規範意識につながるのかのところはこだわって書いていただいているので。

**委員**

「3 教科領域との関連」、4の柱は四つの中でいちばん広い。だから4—1とか4—2とか、4の柱の中でも、この規範意識にかかわるところを出したいのは分かるが、明確にしていきたい。

**委員**

社会科の教科だと初めから縛りがあって、規範意識でやってきて、この3の領域はこじつけの部分もあると思う。そこを筋が通るようにするために理屈をこねたのが1と2の(1)。

**委員**

でも、だからこそ道徳で補充・深化・統合するから。

**委員**

※印で「ワークシートと2と3、補助資料は資料CDに収録」というのを入れておきたいと思ったのだが、これはいいか。そうすると、おもしろそうだった方はROMをやろうと思っただけだと嬉しい。

**事務局**

入れていただいていい。そのほうがいい。では、「1/2成人式」をお願いしたい。

**委員**

第4学年、総合的な学習の時間の「1/2成人式をしよう」という15時間扱い、全部最初から最後まで総合でやる内容。総合のねらいを押さえ、探求活動なども取り入れながらやって

いかなければいけないので、さらにその中で自尊感情をどう耕していくかという内容でつくった。これはキャリア教育にもつながってくる部分。

単元全体を二つに分けて、前半は自分の成長を振り返る、後半は1/2成人式をしよう。9年間の中では4年生が大きな境目になる、その境目としての1/2成人式をしようということ。

その「1/2成人式をしよう」の後半の部分、将来のことを語ろう、2時間扱いだが、ここで自分のことを振り返ったり何が得意なのか、何が好きなのか、何に興味があるのかといったことを振り返らせる時間。そして自分には、こんな得意なものがあると気づくことのできるというところで、自尊感情の中でもここを本時に選んだ。

次の時間が「1/2成人式」の式自体になるのだが、そこに向けての発表原稿を書いたりする中で、自分の良さとか好きなことに気づく、気づかせようという流れになっている。本時は2時間扱い。2枚目、「好きだ」とか「得意なものはこれ」だとか「今はこれに興味がある」といったことをどんどん子ども達に考えさせていこうという流れ。4ページ目にその関連する道徳の時間の資料として、4年生の道徳でやっている「好きこそものの上手なれ」でさかなクンが登場して、自分の好きなことが今では研究を深めていくようなことにまでつながっていったという資料がついている。3枚目になると、持ち分の4ページをオーバーするので、今日のためのただの資料。ワークシートはCDに入れられたらいい。

#### 事務局

「1/2成人式」は大きくは二つに分けて、本時の指導のところについては「1/2成人式をしよう」の真ん中、4時間目、5時間目を使ってやるということ。

#### 委員

第4学年で総合的な時間は週何時間あるのか。

#### 委員・委員

来年度から70になるので週2。

#### 委員

一応週2時間で組んであるけど、フレキシブルにやっているような気はする。

#### 委員

集中してまとめ取りはしないのか。

#### 委員・事務局

ある。その時期にしかできないものとか、特に移動教室にからんでいるものなどは少し集中してまとめて取ってもいい。

#### 委員

例えば、ある週は5時間で次の週はないということはある。

**委員**

総合のない週ができてしまうこともあり得る。年間計画の中で近くなったら3時間とか。

**委員**

どうしても「1/2成人式」は「僕はなんとかになりたいです」で終わってしまう場合があるので、自分の良さや興味のあることをまず見つめさせて、その前に「大人ってなんだろう」を調べる活動も入れている。そこが総合らしい探求活動になるのかと。

**委員**

流れは感覚的にはすごく理解できて、素晴らしい。疑問点は二つ。一つは、これは2時間扱いの指導計画、本時案となると、厳密にはこのうちのどちらかを指導案として成立させるほうが、この趣旨としてはよいのかどうか。それから、この「実施する各教科・領域との関連」で道徳が出ていて、同じような流れの中でこれはCDに鈴木先生は入れている。紙面の都合でまちまちであってよいのか、本時案の扱いと考え方の統一が必要かと思う。

**事務局**

「実施する各教科・領域との関連」については、「1/2成人式」にかかわりのある教科が道徳の授業なので、扱いとしては「実施する各教科・領域との関連」で道徳の主題名と資料名、ねらいぐらゐまで書いて、あと本時案と資料はCD-ROMの資料を参照くださいといった流れのほうがすっきりする。そうすると、3ページ分になってしまうので、本時で使うワークシートなどを4ページ目に載せると生かすことができると思う。本時のところは、どうしても2時間通して活動をしたほうが効果的であるという濱元先生の計画ではないかと思うので、2時間扱いで載せるのは、OKではないか。ここは皆さんの意見をいただきたい。2時間しっかりと使って発表に向けてのイメージをしっかりと持たせたいというねらいがある。この本時を2時間分載せることについてはいかがか。

**委員**

いいのではないか。2時間やらないとできないのだから。

**委員**

指導課程として完結しているという意味で共通理解ができればそれがよい。

**事務局**

次に「実施する各教科・領域との関連」については、道徳の例にならうと、展開例と資料はCDに入れて、ここに本時で使うワークシートなどを入れていただければありがたい。

**委員**

道徳の指導案の形式もいろいろあるが、1に導入、2と3が展開と、終末のかたちでそろえたほうがいい。



#### 事務局

そうすると、この本時の活動の下が数行空くので、ここに「3 実施する各教科・領域との関連」として、道徳、主題名、資料名とねらいを入れていただき、あとは略案、資料については CD-ROM 参照と入れていただければいい。

#### 委員

1 ページ目の「2 指導計画」の「単元の指導計画」については、「活動内容」と「指導上の留意点 ◇評価」という項目で表がつくられていて、その通りだと思った。ただ、3 ページ目の「本時の展開」については、「学習活動と主な発問」とか「予想される生徒の反応」、「指導上の留意点」とかそういう 3 項目になるほうがいいのではないか。

#### 事務局

縦が三つぐらいになるということ。ここの中では、四角で囲んであるところが発問。

#### 委員

もちろん内容はあると思うが、そういうかたちにしたほうがより分かりやすいのではないか。

指導計画として立てているから、これはこれでいいと思うが、求めているものを展開例として出すのであれば、このように表を整理したほうがよいのではないか。小学校ではこういうかたちが一般的なのであれば、全然こだわらない。

#### 事務局

濱元先生、これは発問も含めて「1 / 2 成人式を開き将来について発表をしよう」のところが主の活動。その下の四角囲みは、また違う意味での囲みになっているので、その辺りを統一したらどうか。例えば主発問だけを四角囲みにして、児童の反応を「学習活動・児童の反応」といった感じにして、ポチのところは「予想される児童の反応」をすべて書いていくとか。そうすると少し整理されると思う。

では「たんじょうのふしぎ」をお願いする。

#### 委員

5 年生理科の学習で「たんじょうのふしぎ」、「人のたんじょう」について扱う。ここまでも低学年の段階で花を育てるなどはやってきて、ここではメダカ、そしてヒトの誕生について扱う場面。知識的な命のつながりをここでは受精からやっていくのだが、その中で命の温かみを感じられたらと思って実際の妊婦さん、赤ちゃんを産んだ経験のある方に話を聞くとか、実際の映像を見せてもらうとか、お話をいただいたりすることを入れて 5 時間の中の 4 時間目を本時とした。

本時では、写真を見せながら、このお腹の中に赤ちゃんがいるんだよ、こんなに小さいんだよといったことを話したり、妊婦さんの体験ベストを着用して、こんな重たい思いをするけれど、それでも大事に育てるんだね、といったことを子ども達がここで感じ取ることができたらと思って組んだ。

こちらも付録の CD に行くだろう。「実施する各教科・領域との関連」で「受けつがれる生

命」、この資料を選んだ。これは『教育技術』にあった資料。しかもあとにつけているものは自分で打って写真や絵を切り貼りして子ども達に配布してやったもの。この辺りが生かされるかどうか心配だ。

事務局

これはちょっと確認しないとイケない。

委員

指導案を載せることも、確認なのか。

事務局

この資料を取り上げて、『小六教育技術』から取り上げることでOKしてもらえるかどうか。たぶん区のものに載せるとなればだめとは言わないと思うが、著作権の取り方がどうなるか確認する。

委員

できたら妊婦さんに来ていただくということ。僕も新生児を抱かせたらいいなと考えているが、最近ちょっと危ないという心配が出ている。そういうことのただし書きはいらないのか。こういう危険があるとか、子どもがちょっと興奮してお腹を叩いてしまったとか。

委員

やはり「指導上の留意点」なので、何らかのものは触れておいてもいいかもしれない。

事務局

驚かせないようにそっと触るようにするとか、軽く触れるようにするとか、優しく触れるようにするとか、そういうこと。

委員

これは5時間扱いの第4時だと思うが、本当に1時間でここまで行くのか。中学校の総合などでは、お話を聞くとか体験、いろいろなウェイトを付けてやってみるとかという項目なのかと思う。

委員

お話ししていただきたいというのもあり、それだけで1時間という気もする。

委員

1は前時の振り返りですよね。2と4をどの程度扱うか。4辺りは時間を取るかもしれない。

事務局

妊婦さんにいていただかないと成り立たないのは3までだ。4以降については話や質問をし

たことなどから、実際に体験してみようとなるので、その辺りをどうするか。

委員

前回もなかなか中学校と小学校と一緒に教材を見ながら話してないので、今日初めて小学校の教材を細かく見せていただいているような状況だ。

委員

ゆったりとやらしてあげたいが。このままやったら、ある班は妊婦体験ベストをできて、ある班はバタバタして感想もまとまらずに終わるといふ。5番は最後、まとめみたいな形で残してもいいかと思うが、4番になる。

委員

ただその妊婦体験をほかの指導計画の中に入れ込むのは難しい。

委員

単独でベストを着るといふのは。

委員

中学校だと育児のところがあって家庭科の領域。

委員

総合の福祉とかならありかもしれない。でもどこかでは絶対入れたい。

委員

アイマスク体験みたいなのと一緒に、弱者の気持ちになろうといふ感じで組み立てられる。

委員

各学校に福祉の単元があれば入れられるが。

委員

ここだけ膨らませて理科といふのはやっぱり邪道な気がする。

委員

もともと教科の中で、新指導要領を踏まえて道徳的な教育活動をするといふのが含まれていて、そこから発想して教科の教材を心の部会でもつくるべきだといふところから出ている。そこからあまり外れてはいけないのではないか。ただ、中学校が考えている教科の枠は固いのかもしれない。小学校のほうが横に連携していく自由度があるのかもしれない。例えば私が社会科で授業を組むときに、総合も取り込んでみたいことはあまり考えない。

委員

ちょっと違う話だが、耳をあてて胎児の心音を聞く、聴診器。これは全員にやらせるのか。

委員

心音の入っている DVD がある。

委員

それだったら全員聞けると思って聞いた。お話を聞ける、その大きく膨らんだお腹をひよつとしたら見せてもらえるかもしれないが、すべての子ども達に聞いてもらうのはちょっと難しい。見たらもうそれだけで十分で、あとは DVD とか自分のうちの出産時のテープとかを聞かせればいい。もう音を聞いているだけで涙が出てくる。

そうすると、どこかで切ってやはり2時間ぐらいになってしまう気がする。

委員

とても内容がいいだけに、丁寧にやったほうがいいというのが正直なところだ。

委員

4番の妊婦体験ベストを着たあとに、ぐたつとした感じの赤ちゃんのおもちゃを抱くだけでびっくりする。それと組み合わせると、中学校だと保育か何かで1時間しっかりとできる。

委員

知識的な面でだいたい何グラムぐらいで生まれてくるといった指導事項がある。だいたい三十何週で3kgぐらいで生まれてくると教科書に載っている。それと関連させれば、重さや生まれる直前のお腹の大きさということで、理科の指導内容に入れられなくはないけど、やっぱり福祉があれば。

委員

本当は、画像あり、妊婦の話あり、体験ベストありというのは一まとまりだと思う。だけど、ねらいに照らして全部を入れることは難しい。これをこのままでもいいのだが、だとしたらこの妊婦体験ベストを、この單元の中ではなくてほかのところと関連して位置づけるか。

他教科との関連、または繰り返しほかの細かいところで中学校でも出て、2年生でも出てということであれば、考え方の発想を切り替えて位置づけるとか。

事務局

そうすると少し活動のゆとりが出そうだ。

委員・委員

庭科だと9年でやっている。

**事務局**

中学の学習指導要領を見て、それを考えていただければ。

**委員**

最初の心臓が動く瞬間の映像はあるのか。

**委員**

あったと思う。写真なので静止画なのだが、VHS になっている、それを DVD 化しないと、この場に入れられないので、しようとしている。

**事務局**

最初に話したが、動画を入れるのは厳しいかもしれないので、そのときには写真になるだけという可能性もあるとご了解いただきたい。

もう一つ、「情報モラル」について。

**委員**

情報モラル講習会が練馬区にあるため、5年生でこの内容を扱うことになっている。まだ道徳の副読本などにも、あまり資料が充実していない感じもするし、どの価値項目に入るのかがあいまいで、何か別立てみたいな部分に資料は載っている。公德心なのか規則の尊重なのか、どこなのか迷いながらこちらの資料を選んだ。今年の様子を見ていると、主にメールのやり取りを情報モラル講習会の5年生では扱っていたので、道徳でも「これも、チェーンメール」でチェーンメールについて扱った資料をここで使おうと。

どうしても学活的になってしまいがちなので、あくまでも登場人物の心、気持ちを追っていくといった流れに前回から少し変えてある。指導計画のうち第2時の、強迫的な内容でなくてもチェーンメールになるのかどうかを話し合うと最終的に、こうしてはいけないんだ、こうするんだといった決意表明的な色合いが強くなりがちかと思うので、消したいと考えている。

本時は、一応この登場人物の心を追って学習を通して分かったことや気づいたことを書きましよう、最後に説話ではないですが、ネチケットという言葉があるといったことを触れて終わりにする。そしてここは、「実施する各教科・領域との関連」としては、総合的な学習を情報を扱っている学校は使えるかと。あと、社会科では情報と生活もあるので、ここは教科名等の部分について載せてある。あとはワークシート。

**事務局**

最初のところの書き方は、「学級活動1時間、道徳1時間」という書き方にしていきたい。

2時間の情報モラルの扱いのうちの第2時の道徳、「これも、チェーンメール」の内容で、登場人物の心情を追っていくようなかたちで書いたということ。道徳なので、導入・展開・終末の書き方で合わせていただきたい。おそらく載せられないと思うので、「これも、チェーンメール」のワークシートはCD-ROMでも大丈夫か。そうするとちょうど偶数ページになる。

**委員**

主題名のところで、4－(1)の「公德心、規則の尊重、権利・義務」と三つ出ているが、内容項目は4－(1)のどれかにはしないものなのか。

**委員**

これで絞るとどれだろう。権利・義務ではない。公德心と規則の尊重辺りまででいいような気がする。ただ、この時間はこれで迫ろうということ。本当は正義・勇気とかいったものも入る。そうすると1の柱かと思ったりするけど、やっぱりこれでいったほうがいいような気がする。心情に迫ると言いつつ、小学校は共感を元に展開していく手法が多いが、高学年になるほど理屈的な判断を問うといった展開もありだと思ふ。これはこれでいいのでは。

**委員**

主題名と資料名は1ページ目に載っているのだから、ここは「ねらい」からでもいいのでは。

**事務局**

重ならないように。そうするとこの2行がすっきりする。

**事務局**

主題名と資料名が1ページのいちばん上の四角囲みの中に載せている。これ、資料名は載らないのか。

**委員**

単元の指導計画で四角で囲ってある。

**委員**

でも改めて資料名を書いてあったほうが分かりやすい。主題名はいらないと思うが。

**委員**

資料名イコール主題名ではない。本当はこの第2時、道徳でいきなり資料名ではない。**【4－(1)】**の感じで、この本時の指導のところでは手法としてこの資料を使うということだから。

**委員**

では、入れたほうが分かりやすいか。

**事務局**

入れておいたほうが分かりやすい。

あと、文言のことになるが、今お持ちいただいた資料、それから今日は間に合わなかったけれどもお手元にあるものを、今日の考え方、ベースなどはそろえていただいて、最初の主題にも書いた事務連絡の結果、最終の原稿の提出を10月29日までにお願いしたい。

改めてこれが最終的に提出するものだということでもまとめてお出しいただきたい。提出の仕方はできれば電子データでいただけるとありがたい。

これからのことだが、今日の部会を原稿提出までの最後にする。あとは指導課と、原稿を書いていた方との個別のやり取りをさせていただくかたちになる。多少の文言の修正や形式をそろえるのはこちらですが、ほかの部会と整合性を図るためにどうしてもこの部分だけはといったことがもし出てきた場合には、個別にお願いをすることになる。

校長先生、最初のこちらに書いた指導プラン例のところだが、生越先生から以前、この辺りを校長先生にお願いしたらどうかといった話があった。石原校長先生と相談いただいて、今まで出たものを元にまとめていただくことは可能か。

#### 委員

やらなければならないとは思っているが、ある程度の枠とか方向性みたいなものがないと。

#### 事務局

確か小林先生につくっていただいた枠が元になって、皆さんにお作りいただいた。この指導プラン例の、それぞれ項目ごとにつくっていただいたこの枠を早めに小板橋あてにデータで送っていただければ、校長先生方にそれぞれお願いしたい。これを元に、今回つくっていただいた指導案を入れ込んだかたちの指導プランになると思う。それをぜひお願いしたい。

ほかの指導項目をつくった方の分もいただけると、少し手間を省くことができると思う。これは遅くとも今週中までにいただきたい。どういうふうに分担するかは二人で相談いただいても大丈夫か。

#### 委員

とりあえず見てみて、話を進めていくようになると思う。

#### 事務局

送っていただいた指導プラン例はすべて両校長先生に送るようにする。

あと事務局では、先ほどの著作権を確認する。紙のワークシートなどについては OK だが、写真資料がどの程度までかは全体がそろってない。おそらく動画は無理だけれども写真は OK というところまでは確認できている。心音も本当はいけたらいい。厳しい可能性のほうが高いが。